

最新機器で教育の可能性が広がる

時代のニーズに沿った人材育成を目的に

県立熊本女子大学が、四月一日から「熊本県立大学」として新たにスタートしました。男女共学化や総合管理学部の増設により、これまで以上に地域社会の発展に役立つ人材の育成が期待されています。新しい時代のニーズに応じる人材育成をめざして、県立大学の最先端の情報機器・教育機器を導入した教育環境の充実が注目を集めています。

時代に対応した学内情報化

●最先端の情報処理教育

情報処理教育は、総合管理学部の専門科目の一つになっているように、本学の特長となっている分野です。

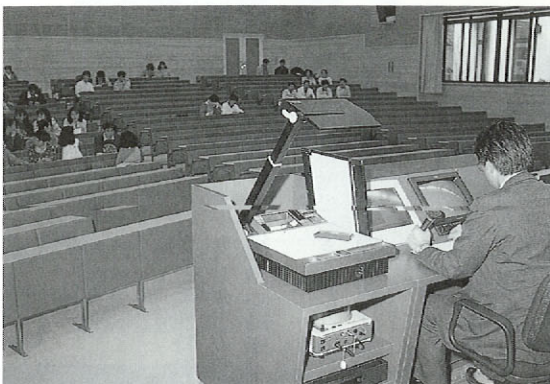
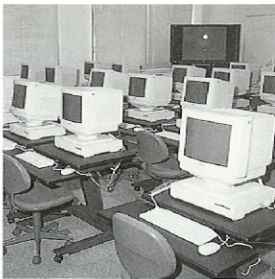
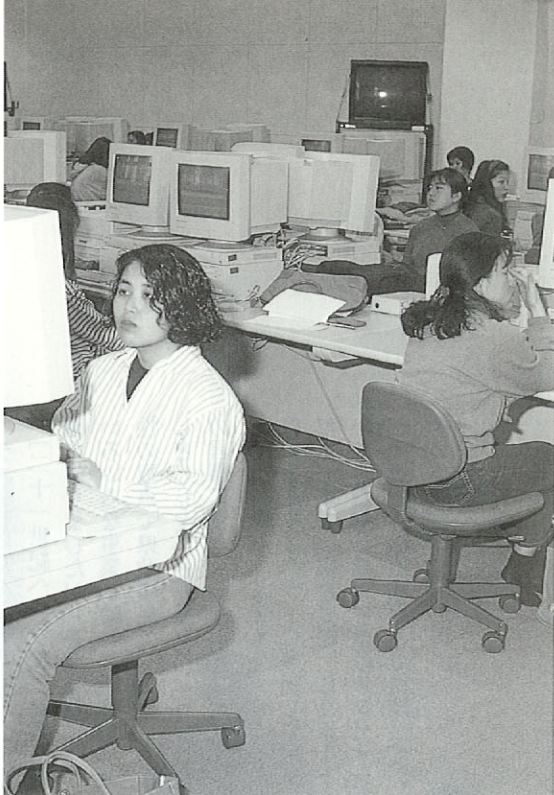
三つの情報処理実習室では、一人一台を目標に百七十七台のパソコンおよびワークステーションが用意され、教員と学生がそれぞれのディスプレイ画面を見ながら指導・学習を行い、コンピュータに触れながら、操作技術や情報処理の技術を身につけることができます。情報処理実習室は、学生が自由に学習できるよう、講義の行われていない時間には開放されます。

また、ゼミ用のノート型パソコンも五十台用意され、演習室でもより高度な情報処理教育が行われます。

●学内の情報ネットワークを整備

全学的な情報通信網の整備も行っています。これは学内の情報機器を光ファイバーケーブルで結んで、いろいろな情報を交換し合う、情報ネットワークを作ろうというものです。各研究室や情報処理実習室、他の部屋のコンピュータとの間で、データや電子メールのやりとりが可能です。これらは学外とも情報通信を行うことができます。

図書館では、図書の検索や貸出・返却もコンピュータで迅速に処理できるようにになりました。情報ネットワークにより、教員研究室や学内の情報コンセントからも図書の検索ができます。さらに、学術情報センターとのネットワークにより、他大学の文献データを検索することも可能です。



熊本県立大学

れます。講堂と大講義室には、公立大学では初めての二〇〇インチスクリーン対応のハイビジョンシステムを導入。他の四つの中講義室でも一五〇インチと二二〇インチのスクリーンにビデオプロジェクトで映像を映し出すことができます。今後は学会などにも利用していく予定です。このような視聴覚

●人に地球に、やさしい環境づくり

●身障者に配慮した施設

新学部棟の大・中講義室には車いす用の専用スペースを用意しました。通路はスロープにし、トイレやエレベーターも車いすで利用できるようになりました。これらは本学の学生ばかりでなく、公開講座の受講生や図書館を利用する一般県民にも利用しやすいよう配慮されたものです。

図書館をあなたの書斎に!

—図書館の県民への利用サービスを開始しました

雑誌や機関紙など軽読書はもちろん、本学の各学科に関連した専門書の参照など、県民の皆さんにも本学の図書館を利用いただけるようになりました。AVコーナーではビデオやLD、CDなどのソフトも鑑賞できます。ただし、図書の館外への貸し出しは出来ません。

*利用できる人は…

●県内に居住する18才以上の人、または県内の事業所に勤務する人。閲覧証を発行しますので、現住所が確認できるもの(運転免許証、健康保険証など)と印鑑をご持参ください。

*利用時間は…

●月～金曜日/午前8時40分～午後9時
●土曜日/午前10時～午後4時

*休館日は…

●日曜・祝日
●開学記念日(5月2日)
●年末年始(12月29日～1月3日)

お問い合わせは…

熊本県立大学附属図書館
☎096-383-2929



●環境対策も

雨水が地下に浸透するように、広場や通路には浸透性のタイルやコンクリートを使用したり、新設の駐車場に植生ブロックを用いるなど、地球にやさしい心配りも。また、低料金の深夜電力を利用する空調システムを導入するなど経済性も配慮されています。

●視聴覚機器で最新の教育を

各講義室にはテレビモニターやビデオ、レーザーディスクプレーヤー、スライドコンバーターを設置。映像を利用した臨場感あふれる講義が展開されます。また、教材提示装置により板書の手間を省き、効率よく授業が進めら



知事室から



平成六年度がスタートしてはや二カ月。この間、県内では新しい事柄が続々と動きだしています。

四月十二日には県立劇場にて熊本県立大学の入学式が行われました。県立大学が熊本女子大から生まれ変わって初めての学生を迎えたわけです。共学化や総合管理学部の増設など、将来、地域に貢献できる人材を育成するという公立大学の大きな役割を担った大学改革でしたので、男子学生による新入生代表挨拶を聞いたときは、新たな感慨を覚えました。高い競争率に打ち勝って入学してきた学生諸君のこと、大いに期待しています。また、県立大学では、地域に開かれた大志を掲げて、図書館の開放を始めとして、

今後、県民の皆さんにも郷土の大学として活用していただけるよう取り組んでいく予定です。

また、先日、平成六年度の「くまもと女性特派員」の方々が着任されました。皆さんが、県民の方々の声を広く、直接聞きたいと「知事への直行便」や「県政モニター」などを設けておりますが、特に「くまもと女性特派員」の方々は、実際にイベントなどに参加していただくことで、県政をより身近に感じていただけるのではないかと考えております。生活の現場から、女性ならではの厳しいご意見も伺えるのではと期待しております。